

議事要旨

令和4年度 第2回千葉県移動性向上プロジェクト委員会

開催日時：令和5年3月6日（月） 13:30～15:00

開催場所：千葉国道事務所 202 会議室

| | | |
|-------|---|--|
| 委員会出席 | 千葉工業大学 創造工学部 教授 千葉県警察本部 交通部 交通総務課 調査官兼課長補佐 千葉県警察本部 交通部 交通規制課 課長補佐 千葉県商工会議所連合会 事務局長 千葉県トラック協会 業務部参与（部長） 千葉県バス協会 専務理事 千葉日報社 クロスメディア局長 千葉市消防局 警防課長 東日本高速道路 工務担当課長 東日本高速道路 市原管理事務所長 東日本高速道路 千葉工事事務所長 国土交通省関東運輸局 千葉運輸支局 首席運輸企画専門官 千葉県 県土整備部 道路計画課 課長 千葉県 県土整備部 道路整備課 副課長 千葉市 建設局 道路部 広域政策室長 国土交通省関東地方整備局 首都国道事務所 副所長 国土交通省関東地方整備局 千葉国道事務所長 | 赤羽 弘和（委員長） 高戸 敦（代理） 高津 功（代理） 黒岩 正典（WEB） 小出 寛（代理） 成田 斉 早乙女 謙司郎（WEB） 横溝 敏宏（代理、WEB） 牛田 和之（代理、WEB） 神林 尚樹（WEB） 笹原 壮雄（WEB） 高橋 直人（代理） 西山 昌克（WEB） 畑本 一亮（代理、WEB） 山室 久（代理、WEB） 狩生 正彦（代理、WEB） 小島 昌希 |
|-------|---|--|

■ 「2. 今回委員会の審議内容」について（資料1 pp.5-6）

- ・ 前回委員会での主な指摘事項である「ピンポイント渋滞対策及び実証実験の実施（国道357号若松交差点における実証実験の評価）」及び「交通需要の調整（TDM施策）の検討」に関して、対応方針の概要が説明された。

■ 「4. 新たな評価手法による対策実施箇所の検証」について（資料1 pp.8～28）

- ・ p.20で説明された信号交差点の処理能力と変動は、交通容量を上回るか下回るかによって変動幅が変わってくる。P.18で説明された平均値だけではばらつきが分からないので、ばらつきを考慮しても統計的に有意な変動なのかあわせて評価したほうが良い、という意見があった。
- ・ p.26で説明された生活道路のエリアを設定した面的評価は、移動性向上と安全性向上が密接に関連しているということの裏付けである。県内で実施中の生活道路の道路安全診断などから「安全対策としても幹線道路ボトルネックの解消が必要」といった意見を貰い、それを渋滞対策候補箇所検討につなげる考え方も一案である、という意見があった。
- ・ バス事業の視点では、コロナ禍による外出控えからのバス利用者の回復傾向が地域的にアンバランスである。例えば、工業地域はおおむね回復しているが、IT関連企業などが多く立地する地域では、リモートワークの継続により通勤者がコロナ禍前のレベルには回復していないように思われる。R3データの分析結果のみで確定的な評価をするのではなく、このような点も考慮し、モニタリングを継続していくことが望ましい、という意見があった。
- ・ コロナ禍に伴う行動変容を踏まえ、TDM施策をどう進めるかを考えるタイミングでもある、という意見があった。

■ 「5. 国道357号若松交差点における実証実験の評価」について（資料1 pp.29～34）

- ・ 車両通行が少ない終盤の青時間を短縮して他の方向の青時間を延長する等、効率的な運用ができた旨が説明された。
- ・ 今回の実証実験の成果は、信号サイクルを短縮するとロスが増えるため一般的には不利と言われるにも関わらず、現況と同等以上の交通処理が行えることを確認した点である、という補足説明があった。

- ・大変有効な取組。より効率的な信号サイクルや、浜町 2 丁目など連担する渋滞交差点との連動制御によりさらなる効果が得られる可能性があるので、県警と道路管理者が連携して取り組んでいきたい、という意見があった。

■ 「6. 交通需要の調整（TDM 施策）の検討」について（資料 1 pp. 35～39）

- ・ TDM 施策の検討に当たっては、初期の段階でバス事業者にも協議に加わってもらったほうが実現性の高い計画につながる可能性がある。例えば、バス事業者の協力が得られるなら新たなバス停設置や最寄り駅以外の駐車場等への輸送によるパーク＆ライド（あるいはバスライド等の対策も考えられ、これらの調整のためにも初期の段階からバス事業者に絡んでもらった方が良いという意見があった。

■ 「7. 今後の渋滞対策の進め方」について（資料 1 p. 40）

- ・ 県警や各道路管理者連携のうえ千葉県渋滞対策アクションプログラム策定を進めていきたい旨が説明された。

以上